

ひのっ子すくすくプラン

—日野市次世代育成支援行動計画（後期計画）実施状況報告—

平成25年度版

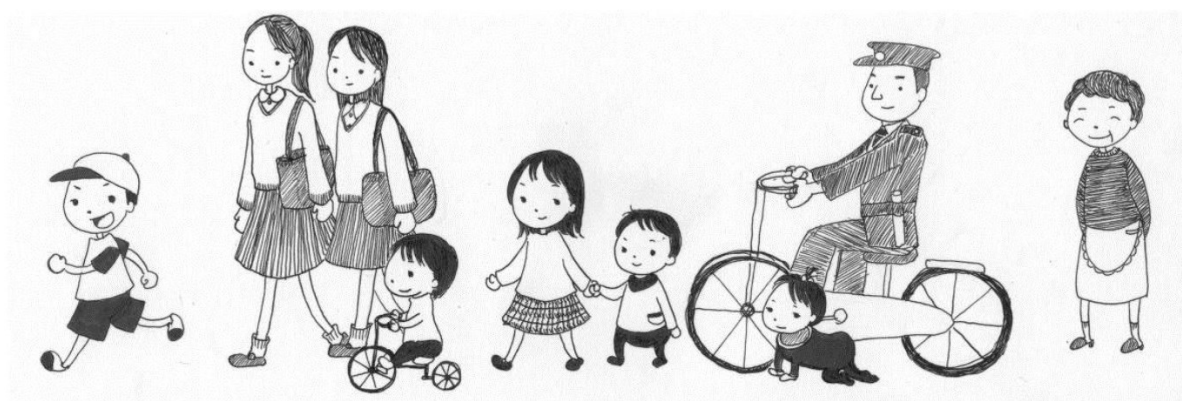


日野市子ども部

表紙絵及び挿絵は、策定委員の原明子さんの作品です。

みんなで

子どもを育て 子どもと育つ
つながる地域・つながる心



親 育 ち

私たちは、親となる準備や経験を意識的につくらなければならない社会環境に生きています。親としての自信と愛情を持てるよう、学びの機会づくりを大切にします。

特に後期計画では、様々な要因から親が日々の生活に余裕がもてない状況の中、親と親のむすびつきを強める工夫を自ら発想し、子育ての場面における本来の親力が発揮できるように支援していくことが大切と考えます。

地 域 育 て

地域には、経験を重ねた人材、専門家、子どもが大好きな人等、様々な資源があふれています。こうした人的な資源を活かし、地域力としてつなげていけるように、参加と支援の体制づくりを進めます。

特に後期計画では、親と親をむすびつけるバックアップとしての地域づくりやその担い手となる人材の養成を進めます。

子 育 ち

子どもは一人ひとりが固有のペースで成長をとげます。そうした個々の成長を見守り、発達段階に応じた支援の必要性を重視します。

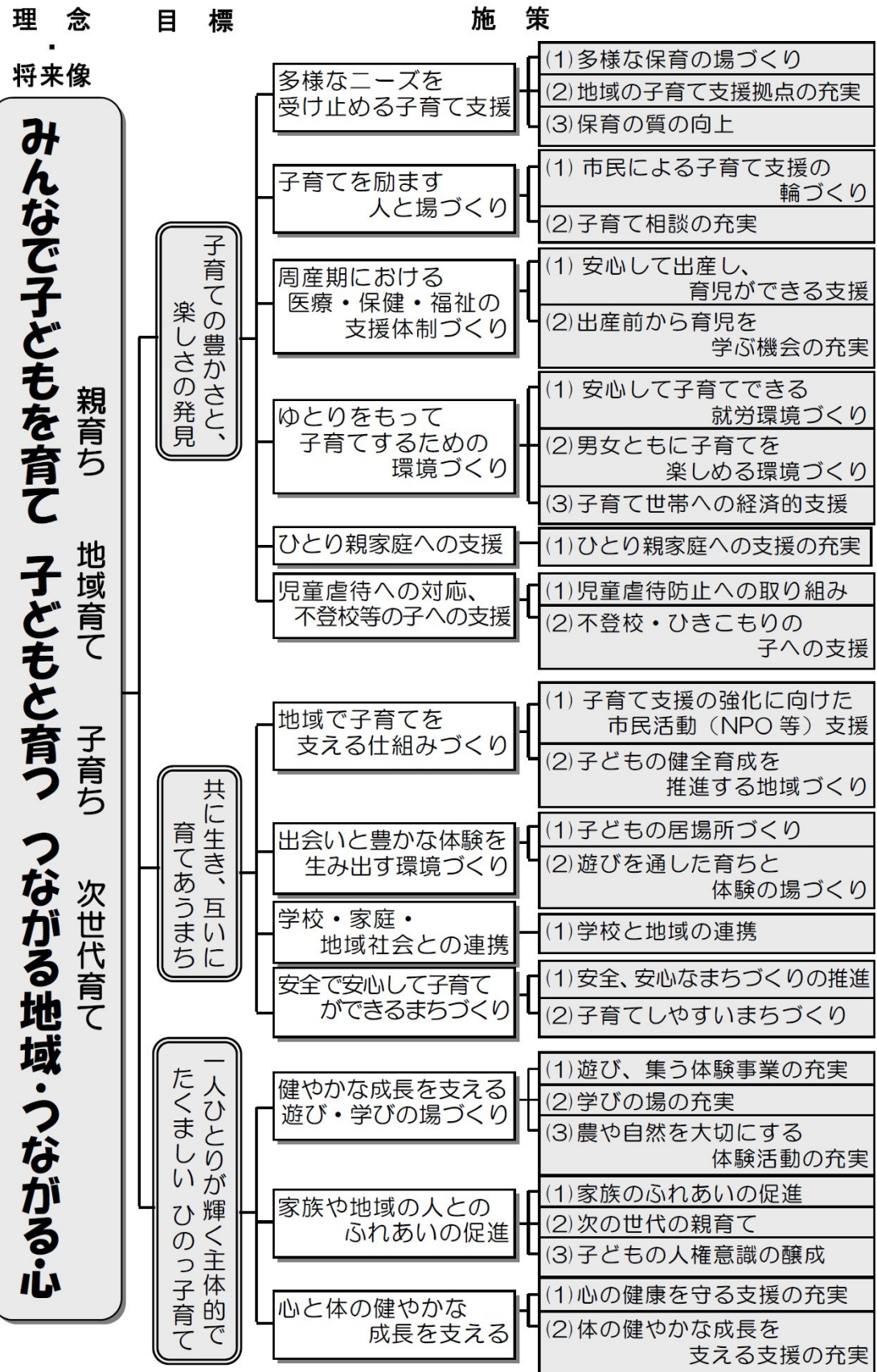
特に後期計画では、ＩＴ社会の影響等の中で、子どもが「無言」、「孤立」、「人間関係を形成する力（コミュニケーション能力）の低下」につながることを防ぎ、様々な社会体験、経験を積み重ねられるよう、家庭や学校・地域社会で注意深く見守りながら、より良い方向に子育てを導いていくことに努力を傾けていくことが大切です。

次 世 代 育 て

日野市でも都市化が進み、身近な環境の中で生命の力強さ、はかなさに触れる機会が減り、生命を慈しむ心が育ちにくくなってきました。次世代の子どもたちと生命への共感を育んでいきます。

特に後期計画では、小・中学生や高校生等が小さな子どもに身近に接する機会等を増やし、小さな子どもへの関心を自然にもてるような場面づくりを大切にしていきます。

後期計画の施策体系



3-1 子育ての豊かさと、楽しさの発見

3-1-1 子育てを励ます人と場づくり

(1) 多様な保育の場づくり

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
平日昼間の 保育サービス (保育5サービス)	保育5サービスの定員 3,537人 (内訳) 3歳未満児 1,529人 3歳以上児 2,008人	保育5サービスの定員 3,092人 内訳 3歳未満児 1,327人 3歳以上児 1,765人	保育5サービスの定員 3,368人 内訳 3歳未満児 1,478人 3歳以上児 1,890人
認定こども園	1か所	1カ所	継続
幼稚園	保護者及び保育士、担当課の三者で効力して「幼稚園」を運営し、地域との交流事業として、幼稚園まつりや合同遠足等を実施した。	実施中	継続
学童クラブ	①希望者全員の入所、②運営費国庫補助金の確保、③余裕教室等既存施設の利活用の3つを基本に置いて、運営を行った。 学童クラブ数 34施設 学童クラブ児童数 1,567人	学童クラブ数 27施設 学童クラブ児童数 1,562人	学童クラブ数 34施設 学童クラブ児童数 1,802人
市立幼稚園	・三幼と四幼を統合し、三幼を廃園していく統合計画(事務局案)が完成した。 ・市立幼稚園の今後のあり方として日野市全体の幼児教育の充実に向けて「生きる力の基礎を培う幼児教育」、「幼保小連携教育」、「特別支援教育」について取り組んでいくこととなった。	実施中	継続

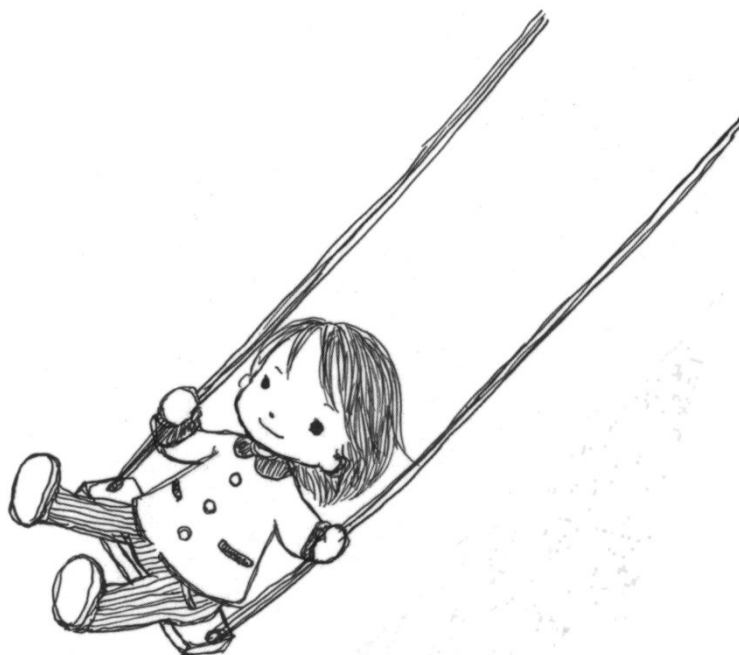
施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度 (当初目標)
私立幼稚園	全園で夕刻までの預かり保育を実施し、送迎サービスや給食を提供している園もある。	実施中	継続 検討
延長保育	公立、民間の全園実施 【1日あたり 324人】	全園 実施	全園 実施
病児・病後児 保 育	2 か所 2,904 日 【利用人数 711 人】	2 か所 2,904 日	2 か所 2,904 日
ファミリー・ フサセセンター事業	依頼会員数 6,044 人 提供会員数 630 人 両方会員数 150 人	依頼会員数 2,600 人 提供会員数 520 人 両方会員数 100 人	依頼会員数 3,000 人 提供会員数 800 人 両方会員数 150 人
トワイライトステイ	利用件数 448 件(昨年度比 約 17%減) 1 日定員 7 名。 開所日数 297 日。 《利用内訳》 一般世帯 285 件。 生保・非課税世帯 163 件。	定員 7 名	定員 10 名
ショートステイ	利用件数 147 件 1 日定員 4 名。 開所日数 365 日。 《利用内訳》 一般世帯 27 件。 生保・非課税世帯 107 件。 特別支援世帯 13 件。	1 か所	1 か所
一時保育	実施施設 7 か所合わせて、年 間利用者数 5,417 人(ほぼ昨年 度と同数) 内訳 4 時間未満 1,518 人 4 時間以上 3,561 人 障がい児 1 人 0 歳児保育 337 人	実施施設数 6 か所 受入日数 5,000 日	実施施設数 8 か所 受入日数 6,688 日
休日保育	1 か所 利用人数 153 人	1 か所 利用人数 100 人	1 か所 利用人数 100 人
夜間保育	未実施	未実施	実施 せず

(2) 地域の子育て支援拠点の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
児 童 館	10 施設うち基幹型児童館 3 施設 【市内 10 児童館の年間利用者数 296,766 人】	10 施設 うち 基幹型 児童館 2 施設	10 施設 うち 基幹型 児童館 5 施設
子 ども 家 庭 支 援 セ ン タ ー	子ども家庭に関する総合相談を受け、相談者の抱える問題解決に向け、各関係機関との連携、サービスの調整を行った。虐待専門相談員、心理専門相談員の配置により細かな対応を行った。	実施中	継続
地域子ども家庭支援センター	地域子ども家庭支援センター 2 カ所 ①年間来所者数：40,111 人 ②相談受理件数：4,599 件 ③啓発等講座：175 回、3,288 人	実施中	継続
子 育 て ひ ろ ば	子育てひろば事業の実施カ所数は、23 カ所。 子育てひろば来所者実績 (21 カ所) ①あかいやね 7,304 ②至誠スマイル 3,758 ③ぽっかぽか 10,504 ④みんなのはらっぱ 14,560 ⑤あさひがおか児童館 20,238 ⑥さかえまち児童館 11,649 ⑦ひらやま児童館 5,113 ⑧子育てカフェ・モグモグ 7,025 ⑨吹上保育園 93 ⑩公立保育園(12園) 3,529 合 計 83,773 人	9 カ所	9 カ所
駅 前 ミ ニ 子 育 て 援 施 設 「 モ グ モ グ 」	昼のモグモグについては、利用率の低い年末年始、ゴールデンウィーク、お盆期間を閉め、経費節減をはかった。 【カフェ年間利用者数 7,025 人 夜間児童預かり事業年間利用者数 553 人】	実施中	継続

(3) 保育の質の向上

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
第三者評価の実施	民間保育園等については、3園において、第三者評価を実施した。 市立保育園については、「保育・子育て推進委員会」において取組内容を実施・検証・評価を行った。	実施中	継続
保育園の機能の充実	四季を感じる農園、プロによる豆腐づくりの話やナチュラリスト学習を、お茶会、習字を実施。また、地域支援では、遊具や絵本の充実で施設・園庭の開放を実施。	実施中	継続
市立・民間保育園との交流	①研修として「体力向上を図る運動遊び」を1回実施した。参加者は民間を含め、75名が参加した。 ②子ども・職員の相互交流として、近隣の保育園同士が互いの行事などに参加、合同保育なども行った。 ③地域のネットワークづくりとして10/13こどもまつり(762人)、11/15～11/19日野市内保育園紹介パネル展示(292人)を実施した。	実施中	継続



3-1-2 子育てを励ます人と場づくり

(1) 市民による子育て支援の輪づくり

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
市民参加の居場所づくり	【集会室1-2】 登録団体数：24団体 利用日数：241日 利用者合計：延べ536団体 【NPO法人子どもへのまなざし】 なかだの森であそぼう！毎週金曜、第2土曜、第4水曜開催。 開催日数：60回 参加人数：6,808人 ・順調 ・NPO法人子どもへのまなざし、各子ども会、子育てサークル、ジュニアリーダー講習会、一中地区育成会、児童館デイキャンプ等の団体が利用した。 ・子どもへのまなざし、ジュニアリーダー講習会、児童館デイキャンプなどは施設と公園との一体活用を行い、地域ふれあいの場としての機能を発揮した。 ・H26も継続していく。	実施中	継続
子育てサークルへの支援	【組織状況】 ・子育てサークル：25団体 ・子育て支援グループ：7団体 【支援実績】 ・遊具の貸出：146件 ・子育てサークル、支援グループ情報交換会：2回開催 32団体114名出席 ・サークル通信1回発行 ・子育てサークル交流会：2回開催 ①交流会：271名 ②一般親子との交流会 247名参加 (子ども137名大人110名) 【サークル立上げ支援】 ・上田・川辺堀之内地域、神明地域で実施 ・10組参加 サークル結成 【啓発事業】 ・案内冊子発行 ・サークル紹介ポスター展	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
子育てパートナー事業	平成25年10月～平成26年1月まで、全8回の子育て支援者養成講座を実施し、8名を養成した。	実施中	継続
さんぽっぽろば事業	幼児教室：登録人数 502 人 174 日実施 子育て支援啓発：36 回実施 1742 人参加。	実施中	継続

(2) 子育て相談の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
乳児家庭訪問(赤ちゃん訪問)	訪問実施件数：1,128 件 訪問実施率：95%	実施中	継続
乳幼児健康診査	各 36 回/年実施。 【受診率】3～4 ヶ月健診 99.1%、 1.6 歳児健診 96.5%、 3 歳児健診 98.2%。	実施中	継続
乳幼児健康相談事業	来所者数：947 人 うち相談件数：394 件	実施中	継続
育児支援家庭訪問事業	育児技術委訪問指導員 実訪問世帯数 14 世帯。 延訪問回数 182 回。 育児家事訪問支援員 実訪問世帯数 6 世帯。 訪問回数 17 回	実施中	継続

3-1-3 周産期における医療・保健・福祉の支援体制づくり

(1) 安心して出産し、育児ができる支援

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
母子健康交付	母子手帳交付数 1,520 名	実施中	継続
妊婦訪問指導	訪問 7 人 面接相談 188 人 相談電話 183 人	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
妊婦健康診査	受診票受理枚数 1回目 1,445枚 2回目 1,431枚 3回目 1,402枚 4回目 1,394枚 5回目 1,401枚 6回目 1,378枚 7回目 1,335枚 8回目 1,276枚 9回目 1,175枚 10回目 1,111枚 11回目 1,030枚 12回目 877枚 13回目 667枚 14回目 397枚 超音波 1,273枚 助産所及び里帰り助成金申請件数 293件	実施中	継続
保育園での妊婦受け入れ	初妊婦体験は、たかはた・あさひがおか・しんさかした・もぐさ台保育園の4園で実施した。また、体験保育は、公立保育園12園全てで実施した。 【初妊婦体験・・・4人 体験保育・・・1208人】	実施中	継続
周産期ネットワーク会議	連携がはかれるようになってきたため実施せず。	実施中	継続

(2) 出産前から育児を学ぶ機会の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
ママパパクラス	平日基礎コースは2日間で出産・育児についての教室を開催。 その他：栄養コース、歯科コース、休日沐浴コース、休日基礎コースを実施。 【開催回数：58回、人数：1,165人】	実施中	継続
知っ得ハンドブックの発行	6000部発行(前年比+1000部) 幼児の描いた絵を表紙等に掲載し、親しみのもてる紙面にした。	実施中	継続
妊産婦とその家族への食育推進	毎月1回実施。 参加者年間144人(うち夫12名)	実施中	継続

3-1-4 ゆとりをもって子育てするための環境づくり

(1) 安心して子育てできる就労環境づくり

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
事業所と協働での子育てに優しい職場づくり	実施に向けて庁内調整を実施	検討	実施
特定事業主次世代育成支援行動計画	○日野市次世代支援対策特定事業主行動計画策定・実施委員会の開催 (平成25年7月31日実施) ○次世代育成支援対策研修の実施 (平成25年10月30日実施、受講者：主任職79名) ○休暇制度等取得率 介護休暇 41.7% 育児休業 男8% 女100%	見直し	実施

(2) 男女が共同で子育て等ができる社会の醸成

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
日野市男女平等行動計画の推進	子育てをする人への支援、ワークライフバランスの推進を重点施策に位置づけた第二次男女平等行動計画(計画期間平成23～27年度)の24年度実施事業の評価を行った。各主管課による自己評価を行い、内15事業の本部評価・市民評価を行った。男女平等推進委員会を5回開催し、ワークライフバランスの推進などの提言を市長に提出した。「DVの子どもへの影響」をテーマにした講演会をはじめ、男女平等行動計画に基づく講演・講座を7事業実施し、延べ170人が参加した。また、DV撲滅のためのパネル展示、女性相談事業(相談件数237件中85件がDV、34件が子どもに関する相談)、DV被害者の民間シェルター運営費補助事業の実施により子育て支援につながった。	実施中	継続

(3) 子育て世帯への経済的支援

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
保育園等 入所児童の 保護者への補助	利用者一人につき1カ月1万8千円の補助金を交付した。 【対象人数 475 人】	実施中	継続
私立幼稚園 児の保護者 への補助	就園奨励費、保護者補助金、入園補助金を交付し、保護者の経済的負担を軽減した。 2,080 人に対して 総額 318,945,100 円を交付。 また、所得状況に応じて補助金を交付することで、公・私幼稚園間の保育料等の格差の是正を図った。	実施中	継続
子育て世帯への 手当の支給	児童手当から子ども手当に移行し、再度児童手当に戻り2年が経過、制度は安定しつつある。年間の支給対象者数は横ばいの傾向である。【述べ支給対象児童数 270,259 人】	実施中	継続 (国の動向をみながら改変)
子ども 医療費の助成	制度の変更はなし。感染症の大流行等もなく、年間の受診件数(助成件数)は横ばいの傾向である。【述べ受診件数 335,066 件】	実施中	継続

3-1-5 ひとり親家庭への支援

(1) ひとり親家庭への支援の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
母子自立支援員の 充実	相談件数は高止まりとなり、平成25年度は、2,917 件となった。父子家庭についても13 件の相談があった。	実施中	継続
情報提供の充実	平成25年度に改定した「ひとり親のしおり」を窓口及び関連部署にて配布した。またホームページや広報にて情報提供を行った。	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
ひとり親支援会 セミナー・相談会	男女平等課との共催で、ひとり親支援セミナーを1回実施し17名が参加。専門家を講師に招き、ひとり親の自立につながる情報提供を行った。	実施中	継続
母子自立支援 プログラム 策定事業	8名の自立支援計画を策定。そのうち6名が雇用につながった。	実施中	継続
母子生活支援 施設入所支援	施設に入所することにより、入所世帯の母子が心身ともに健康になり、良好な母子関係を築くことができた。また世帯の自立のために必要な支援を受けることができた。	実施中	継続
母子家庭支援給付金（教育訓練給付金、 高等技能訓練促進費）	対象者数 ・教育訓練給付金 5名 ・高等技能訓練促進費 6名 ・修了支援一時金 4名	実施中	継続
求職活動中の 一時保育料の免除	3件の申請に基づき証明書を発行。	実施中	継続
母子福祉資金の 貸付	56件の貸付を実施。	実施中	継続
ひとり親の市臨時職員 への採用	東京都子供家庭支援区市町村包括補助事業の対象外となったこともあり、優先的な採用は困難な状況である。希望者は母子自立支援員を通して、案内を行っている。	実施中	継続
離婚直後等の ひとり親への住宅支援	世帯入居継続中。	実施中	継続
ひとり親世帯への経 済支援（手当）	児童扶養手当は、若干の手当額の減額があった。育成手当は制度変更なし。経済的困窮の割合が比較的高いひとり親世帯には重要な支援となっている。 【児童扶養手当述べ支給人数（世帯数）13,102人、育成手当総児童数26,649人】	実施中	拡大 (H22年に児童扶養手当の対象拡大)
ひとり親家庭 医療費助成制度	制度の変更はなし。感染症の大流行等もなく、年間の受診件数（助成件数）は横ばいの傾向である。1件当たりの助成額はやや増加している。【述べ受診件数23,946件】	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
ひとり親家庭ホームヘルプサービス	26世帯2,266回8,649時間ヘルパーを派遣し、ひとり親家庭の生活等支援を行った。	実施中	継続

3-1-6 児童虐待への対応、不登校等の子への支援

(1) 児童虐待防止への取り組み

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
児童虐待への対応	児童虐待について、年間受理件数38件。虐待に関する第一義的な通告先として、予防・早期発見・早期対応を行った。	実施中	継続
児童虐待防止の啓発	リーフレットの随時配布、虐待防止講演会開催、オレンジリボンキャンペーン等を実施した。	実施中	継続
日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会	協議会の頂点の代表者会議を年2回から1回に変更。協議会の参加機関同士の情報交換をスムーズに行い、中学校区ごとの地域別会議により、地域の横のつながりを深め連携強化を図った。	実施中	継続
健康課・子ども家庭支援センター連携強化会議	年6回連携強化会議を実施。情報共有と、両課でそれぞれ関わっているケースの進行状況の確認を行い、連携体制の整備と、児童虐待などへの早期対応を実施した。	実施中	継続
虐待防止マニュアルの活用	虐待防止マニュアルの概要版を活用し、チェックシートや、発見のヒントとなる家庭や、児童の様子から日々の虐待に関する芽を早期に発見できるよう実施した。	実施中	継続
養育家庭啓発活動	養育家庭に関する普及啓発事業として、10月18日に養育家庭の体験発表会、講演会を開催した。参加者名。 他にサロンの開催支援などを実施し、支援を進めた。	実施中	継続

(2) 不登校・ひきこもりの子への支援

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
不登校やひきこもりの子の居場所づくり	平成23年度に事業終了引き続き、市民の森ふれあいホール集会室1-2を活用することにより支援を実施。	実施中	継続
不登校児童への個別相談	年間18件受理。しかし子ども家庭支援センター単独では、対応しきれない問題であり、解決のために関係する諸機関と情報交換をしあいながら、子ども家庭支援センターのケースワーカー、心理専門相談員、学校、エールなどと連携して対応を行った。	実施中	継続
不登校の子どもたちの教室「わかば学級」	相談活動（学校生活上の問題・不登校に関すること）、通室児童・生徒への学習指導（eラーニングを活用した学習支援）や生活指導と支援、健全育成に関する助言、学校・家庭・地域・相談関係機関との連携（在宅eラーニング・登校支援員）を実施。 【実績】 ・年度当初28名の通室生でスタートし、年度末は51名となった。（体験入室者を含む。）年度途中の学校復帰は2名であった。 ・進級による学校復帰2名及び高校進学者は23名であった。 ・家に閉じこもりがちな子が、各関係機関との連携を通して、わかば教室へ歩みだし、通室する児童・生徒が増えた。 ・夏季休業中に10日間の補習を実施。	実施中	継続



3-2 共に生き、互いに育てあうまち

3-2-1 地域で子育てを支える仕組みづくり

(1) 子育て支援の強化に向けた市民活動（NPO 等）支援

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
市民活動（NPO 等）支援	・ひの市民活動団体連絡会との協働による市民活動 PR・第2回市民活動フェアを開催し、1500人を集客。市民活動支援補助金を4事業に交付 ・平成24年度補助金交付事業報告会を実施	実施中	継続
ひの市民活動支援センター・運営	・市民活動支援センターの運営をひの市民活動団体連絡会に委託 - 市民活動支援センターがさらに加盟団体に有効利用されるように管理・運営状況の見直しを検討する。	実施中	継続

(2) 子どもの健全育成を推進する地域づくり

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
子ども会等支援	●子ども会 団体数：76 団体 会員総数：2,844 人 (1 団体 7,000 円＋会員人数×65 円を交付) ●ボーイスカウト・ガールスカウト連合協議会 会員数：ボーイ 167 人、ガール 89 人	実施中	継続
地区青少年育成会の活動	地区育成会では、地域でのイベントや企画を実施し地域の中の子どもたちへの様々な体験・経験の機会を提供し、子どもたちの交流を促進した。 また、連合会では、日野市民を対象にしたイベント事業を実施し、「いきいき体験事業（市から受託）」やチャリティコンサートを実施した。	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
青少年委員活動	・みんなの遊・友ランド、手をつなごう・こどもまつり、あきなかだ等の各種事業を継続して実施した。H26も継続する。 ・青少年委員とジュニアリーダー講習会の連携を深めるために話し合いを進めた。H26も継続する。	実施中	継続
青少年問題協議会	・青少年委員とジュニアリーダー講習会の連携を深めるために話し合いを進めた。H26も継続する。	実施中	継続

3-2-2 出会いと豊かな体験を生み出す環境づくり

(1) 子どもの居場所づくり

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
放課後子どもプラン「ひのっち」	市内の小学校全校（17校）で引き続き実施した 【平均登録率】90.5% 【平均開催日数】184.4日 【平均参加人数】47.9人/日	実施中	継続
子どもたち、特に中高生の活動拠点となるよう児童館づくり	中高生対応館であるたまだいら、みなみだいら児童館と基幹型あさひがおか、さかえまち、ひらやま児童館を中心とした事業の実施を行った。	実施中	充実

(2) 遊びを通した育ちと体験の場づくり

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
自然体験広場	・広場開設期間 7月20日～8月31日、利用者延べ21団体（1,111人）、ボランティアスタッフ延べ35人。 ・あきなかだ 11月30日開催、来場者約1,000人。	実施中	拡大

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
地域の遊び場 (公園、児童遊園等)	公園出入口のバリアフリー化は、開発行為等により帰属される公園について適切な指導を行った。樹木の剪定・伐採、刈込、草刈りについては市内全域で行い、死角を少なくした。	実施中	継続

3-2-3 学校・家庭・地域社会との連携

(1) 学校と地域の連携

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
コミュニティ・ ス ク 運 営 事 業	平山小学校、東光寺小学校では文部科学省の委託事業を受託しコミュニティ・スクールのマネジメント力の強化に関する研究を行うなど、学校運営協議会のさらなる円滑な運営に向けて研究を行った。他校ではコミュニティスクールを拡大していく動向が見受けられないため、引き続き、地域の動向を注視していく。	2校	拡大
ホームページでの学校 情 報 提 供	各学校が、学校Webページによる見える学校づくりに向けて、日々の学校での様子や学校行事、様々な特色ある活動などを発信している。学校によってさまざまな発信を行っている。特に、移動教室や校外学習などへのアクセス数は多くなっている。	実施中	継続
学 校 地 域 支 援 本 部	小学校17校において、学習支援(1375回)、環境整備(580回)、学校行事支援(30回)、登下校の見守り(1235回)などを保護者や学校支援コーディネーターと地域ボランティアにより行われた。	実施	継続

3-2-4 安全で安心して子育てができるまちづくり

(1) 安全、安心なまちづくりの推進

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
登下校の安全確保	平成24年度に行った通学路の緊急合同点検において抽出された対策必要箇所（42箇所）は関係機関により37箇所が整備され、通学路の安全性が格段に向上した。	実施中	継続
あいさつ運動	奇数月（6回）に市管理職による校門あいさつ運動を市内小中学校で実施。延173名が参加した。	実施中	継続
スクールガードボランティア	- 平成25年度末の登録者数1,461名（平成25年度中の登録者増数名） - 学校単位で連絡会・情報交換会などが行われ、地域で意識の共有を図りながら連携した見守り活動が行われた。	実施中	継続
セーフティ教室	非行防止・犯罪の未然防止を目的として、警察等関係機関と連携して、小・中学校全25校で年1回～2回セーフティ教室を実施した。その後、保護者、地域の方との意見交換会を実施し、のべ1,502名が参加した。	実施中	継続
不審者情報メール配信サービス	- H26.3.31現在登録者数21,436件 - H25年度配信数296件 - 登録者数は若干減少した。配信数は徐々に増加傾向である。	実施中	継続
自主防犯組織育成支援事業	2団体が新規結成。合計175団体。 10団体に自主防犯組織育成支援として補助金を交付し活動に対する支援を実施。	実施中	継続
市内安全パトロール	248日（年末年始土日祝祭日を除いた平日）実施。特に夕暮れ時が帰宅時間となる学童クラブを中心にパトロールを実施することにより、子どもたちの見守り体制を構築した。	実施中	継続
「こどもを守るネットワーク」事業	「こどもを守るネットワーク」ニュースによる情報の共有	実施中	継続

(2) 子育てしやすいまちづくり

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
住宅マスタープランの改定	平成26年度の住宅マスタープラン策定に向けて、平成25年度においては、基礎調査として、空家調査及び住民意向調査等（アンケート）を行った。	検討中	継続
公園探検隊事業	以前に作成した公園マップの内容を平成23年度に更新し、ホームページでの公開により情報提供を行っている。	実施中	継続
通学路の整備	通学路緊急整備工事によりカラー舗装15箇所1,906㎡、横断歩道新設に伴う歩道改良3箇所、注意喚起の看板設置36箇所等を実施し、また、通学路等道路標示設置委託により通学路の路側線等を設置し、市内小学校16校の通学路について通学児童の安全・安心を向上させた。	実施中	継続
日野市交通バリアフリー基本構想	心のバリアフリー化を推進するために職員研修を実施した。 ユニバーサルデザインを推進するために表彰制度の確立に向けた検討を行った。	実施中	継続
まちづくりマスタープランの推進	課内にて勉強会を実施した。	実施中	継続



3-3 一人ひとりが輝く主体的でたくましいひのっ子育て

3-3-1 健やかな成長を支える遊び・学びの場づくり

(1) 遊び、集う体験事業の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
ジュニアリーダー講習会	・ジュニアリーダー講習会の運営の中でリーダーの育成を進めた。(講習会9回、受講生延べ433人、リーダー計26人) ・地域でのボランティア活動にも積極的に参加した。(56件、延べ89人) ・青少年委員の協力人数も増加し、リーダーとの連携を深めた。	実施中	継続
ななお「土曜のひろば」遊学講座	・青少年委員の協力人数も増加し、リーダーとの連携を深めた。	実施中	継続
公民館事業	青少年向けに夏・春の休業期間に小学生対象のわくわく学習術、平和アニメを実施し、カーデザイン教室、ひのっ子シェフコンテスト等を実施して、延べ403名の参加者があった。	実施中	継続

(2) 学びの場の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
わかる授業、魅力ある授業の充実	年2回の少人数指導者連絡会や習熟度別指導の充実のための学校訪問(全校)により指導方法の工夫・改善を図った。ICT活用教育の推進では、タブレットパソコンを導入した学校での授業研究を実施し、共同学習での活用方法について研修を行った。若手教員育成研修では、模擬授業やワークショップ型研修などによる問題解決的な学習の推進などを図った。	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
人 力 と の か か わ る 成	小学校では縦割り班活動、中学校では、部活動、学校行事等において異年齢とかかわる機会を意図的に設けたり、職場体験等において他者とかかわる教育活動を進めたりして、豊かな心の育成を図っている。	実施中	継続
特 色 あ る 学 校 づ く り	学校が抱えている課題や教育内容、指導方法の改善等について積極的に研究調査する等、各学校からの独自の提案内容に応じた校内研究を実施した。	実施中	継続
保護者・地域・関係等携 機 と の 関 連	小学校では農業指導者による農業体験、工場見学等を全17校で実施、中学校では職場体験を全8校で1日～3日実施し、保護者地域と連携した体験学習を実施した。	実施中	継続
I C T 活用教育の推進	学校から前年度よりたくさんの実践事例を集め、様々な機器やソフトを活用した授業例を発信することができた。I C T活用推進委員会で中学校の授業研究を実施し、委員を通して各学校に授業における効果的なI C Tの活用について啓発を図った。	実施中	継続
情 報 モ ラ ル 教 育	6月に開催した情報安全教育研修会では、東京都青少年・治安対策本部心の東京革命推進協議会の方を講師として、児童・生徒を取り巻く現状について理解を深めた。（市内小中学校のI C T活用教育推進委員が参加）また、セーフティ教室では、14校がサイバー犯罪防止をテーマに取り上げた。	実施中	継続
図 書 館 に お け る の を 関 心 す 取 り 組 み	・講座の実施…市立幼稚園と連携した親子向け手作りおもちゃ講座・絵本読み聞かせ入門講座 ・小学校PTAへ絵本読み聞かせ入門講座 ・小学校3年生全クラスへ学校訪問（図書館利用ガイダンス・図書の紹介） ・乳幼児向け絵本リスト（2種）・乳幼児を持つ保護者向け図書館利用案内の配布	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
	・小学生向けおすすめ図書リストの配布 ・学童クラブ等へ出張おはなし会の実施 ・青少年に向けての読書推進活動…高校生・大学生からなる「日野ヤングスタッフ」による本の紹介イベントの開催（1中学校3クラスに実施）、「ヤングスタッフ」による図書の紹介リストの発行、図書の展示 ・1日を通して乳幼児から青少年までを対象としたイベント「図書館おはなしピクニック」の開催（多摩平の森ふれあい館にて） ・小中学校へ学習関連図書の貸出と搬送 ・小学校全学年へ「本の森学級文庫」図書セット配本の開始 ・幼稚園・保育園・子育て関連施設へ図書セット配本		
郷 土 資 料 館	・市民活動支援センターの運営をひの市民活動団体連絡会に委託市民活動支援センターがさらに加盟団体に有効利用されるように管理・運営状況の見直しを検討する。 ・学校への出張事業として「火越こし体験」、「昔の道具」の公開授業を全小学校に行なった。 ・中学生に対しては、職場体験を中心に郷土資料館の仕事を理解してもらうように対応した。 ・その他、夏休みの子ども講座「勝五郎生まれ変わり物語探求調査事業」を行ない、自然分野では「昆虫の標本作り」や「植物標本作り」などを行なった。	実施中	継続

(3) 農や自然を大切にする体験活動の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
保 育 園 に お け る 農 業 体 験	①全保育園で春と秋2回、自分たちで育てた野菜を使用して調理活動を実施した。 ②ブルーベリー、りんごは農家の方から収穫に至るまでの話を聞き、摘み取り体験をした。 ③散歩の時、畑で育っている作物の様子を写生した。 ④日野産農産物を給食で使用した。	実施中	充実
自 然 環 境 を 活 か し 学 ぶ 体 験	自然観察会を年9回実施した。内、子ども向け観察会は、7月に昆虫をテーマに親子観察会として実施した。	実施中	継続
小 中 学 校 で の 農 業 体 験	学童農園や地域農家の協力による体験農園を通して、児童・生徒による農業体験を実施した。	実施中	継続
食 農 教 育 事 業	セツ塚ファーマーズセンターや塩とまと飴工場を取材し「こども農業新聞第9号」を作成し、メールなど電子媒体にて市立小学校全校へ配信した。 食育DVDは、図書館や公民館での貸出しを行い、活用を促した。	実施中	継続
ひ の こ の 子 達 の 環 境 意 識 啓 蒙	・取組みを推進するため、担当者連絡会等を開催し、情報交換、情報共有を図るとともに環境研修を実施した。 ・各校で栄養士と連携した給食残菜軽減、落ち葉の堆肥化の実践、地域と連携した実践等の取組み等が実施された。 ・緑のカーテンの取組みも確実に広がっている。	実施中	継続



3-3-2 家族や地域の人とのふれあいの促進

(1) 家族のふれあいの促進

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
家族ふれ愛の日	家族ふれ愛の日の啓発活動として、写真作品を公募し写真展を開催し、啓発ポスターを作製し各施設へ掲示を行った。	実施中	継続
親子ふれあい事業	36回/年実施。 【参加人数:母1,487人、子1,503人】	実施中	継続
家庭教育学級	小中学校25校PTAへの委託により、地域性やニーズに合わせた学習活動が実施された。延べ参加者数6,119人。 また生涯学習課で、家庭教育力向上に向けた講演会を2回開催した。延べ参加者数318人。	実施中	継続

(2) 次の世代の親育て

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
保育園で の 保 中 受 育 高 け 生 入 の れ	地域の高等学校・中学校と連携して中高生等の保育体験を積極的に受け入れた。 【実施園・・・12園 参加人数・・・1,086人】	実施中	継続

(3) 子どもの人権意識の醸成

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度(現状)	平成26年度(当初目標)
道徳授業 地区公開講座	市内の全ての小中学校において、道徳授業地区公開講座を実施し、保護者や地域の方々との意見交換を図った。(のべ約5,200人の保護者等が参加した)	実施中	継続
人権教育 推進委員会	全ての幼稚園、小・中学校の推進委員が研修会に出席し、人権尊重の理念と個別の人権課題、児童虐待への対応について理解を深めることができた。	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
障害児少年学級・青年学級	少年学級は定例会全13回、リトミック教室を7回開催し、延べ1,182人の参加者があった。また青年・成人学級では定例会・分科会併せて55回の行事を行い延べ836人の参加を得た。	実施中	継続
高齢者との交流	特別養護老人ホームへの施設訪問、昔遊びなどの学習を通して、高齢者との交流を行った。	実施中	継続
みんなんのド遊友ラン	障害児やボランティアの学生など377人が参加し、盛況に終わった。	実施中	継続

3-3-3 心と体の健やかな成長を支える

(1) 心の健康を守る支援の充実

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
そだちあい事業	公立保育園・民間保育園 巡回支援実施回数 129回 保育者支援シート提出数 （対象者実数） 188人 個別相談実数 24人	実施中	拡大
特別支援教育	・平成26年度から平成28年度の3年を実施期間とする「第3次特別支援教育推進計画」を策定した。 ・中学校のリソースルーム事業を、日野第三中学校に引き続き、日野第一中学校でも実施した。 ・就学支援シートは103件、進学支援シートは65件作成され、学校へ引継ぎ入学にあたって活用が図られた。 ・通常の学級に在籍している児童・生徒に対し、特別支援教育の視点を活用した学級環境や指導方法などを実践した。	実施中	充実

施策名	平成 2 5 年度の実績	後期計画	
		平成 21 年度 (現状)	平成 26 年度 (当初目標)
保育カウンセラー	平成 25 年度は月 1 回、1 日 7 時間の配置を行った。園児の健やかな成長、保護者の不安の軽減、幼稚園での指導者の育成ができ、保護者や幼稚園からも好評を得た。また、平成 26 年度から発達支援課の巡回相談事業との位置づけを整理した。	実施中	充実
スクールカウンセラー	大学と連携をし、インターンの学生や専門家との連携により相談体制の充実が図れた。また年 3 回のスクールカウンセラー連絡会を実施し、延べ 53 名のスクールカウンセラー等の参加による情報交換を行った。	実施中	継続

(2) 体の健やかな成長を支える支援の充実

施策名	平成 2 5 年度の実績	後期計画	
		平成 21 年度 (現状)	平成 26 年度 (当初目標)
乳幼児歯科相談等	〈乳幼児歯科相談〉 歯科健診延べ人数 1,100 名 予防処置延べ人数 28 名 健康教育延べ人数 361 名 〈むし歯予防講習会〉 開催園数 13 園 (2 園合同実施含む) 受講者数 723 名	実施中	継続
日野市みんなですすめる食育条例・日野市食育推進計画	市民委員の改選。 3 回実施。新計画に沿った評価を実施。	実施中	継続
	毎月 1 回実施。参加者 149 人	(目標) 平成 23 年度までに保護者の欠食率を半減 (9.3%)、子どもの欠食率を 0% とする。	
乳幼児及びその家族への食育推進	初期 (月 2 回) 611 人、中期 (月 2 回) 473 人、後期 (月 1 回) 343 人、完了期 (月 1 回) 234 人、幼児食 (月 1 回) 89 人。	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度 （当初目標）
保育園における食育推進	日野市食育推進計画が作成され市内保育園、地域を含め食事の大切さを進める活動を進めた。 ①在宅家庭には子ども家庭支援センターを通じ2回講演した。今年度新たに、子育て広場栄養講座を実施した。また、ケーブルテレビ、インターネットで給食情報を提供した。 ②子ども祭りに参加し、乳児・幼児の食事相談を受けた。 ③初産婦体験保育、各園の地域交流会に参加し食事の大切さを指導した。 ④朝食カードは幼児クラスで通年実施をした。 ⑤市内民間保育園栄養士との情報共有化のために2回会議を実施した。	実施中	継続
学校での食育推進事業	全ての学校において、食に関する指導の全体計画に基づき、食育事業を実施。全ての中学校でテーブルマナー教室を継続実施。日野産野菜等利用率は、天候等の影響により17.9%になった。	学校給食での日野産野菜利用率 20%	学校給食での日野産野菜利用率 25%
児童館で開く食育事業	調理活動が難しいもぐさだい児童館を除く9児童館で食育事業を実施した。 【実施回数：66回 参加人数：3,006人】	実施中	継続
救急医療体制	受診者数 平日準夜 529人 休日準夜 1,390人 休日診療 6,131人 休日歯科 384人	実施中	継続
二次救急診療体制の拡充	入院患者数 4,731人 → 4,417人 外来患者数 12,938人 → 11,165人 救急搬送数 499人 → 472人 常勤医師数 6人 → 6人	実施中	継続

施策名	平成25年度の実績	後期計画	
		平成21年度（現状）	平成26年度（当初目標）
市民の森ふれあいホ	市民交流の拠点として国民体育大会の会場として活用した。また、スポーツ・文化・芸術など様々な分野で利用できる市民交流の拠点としてイベント等にて幅広く活用した。 広く指定管理事業者を公募し選定を行った。	準備中	平成24年度開設予定
校庭の芝生化	・校庭芝生化が実施された学校については、地域との連携による芝生の維持管理により良好な芝生を維持することができ、外で遊ぶ子どもたちが増加し、体力・運動能力の向上、けがの減少及び、精神面の安定性などに寄与することができた。	実施中	継続
スポーツ推進委員会	ロープジャンプ！小学生大会を昨年に引き続き実施し、スポーツ推進委員による各校への派遣指導を行なった。大会当日は14校・46チーム・1,006人が参加した。	実施中	継続
地域スポーツ振興事業	自立したクラブ経営を目指して、会員拡大を図るための広報活動などの支援を行なった。 子どもも対象とした、ふれあいホールでの日野スポーツクラブ（HSS）を実施した。9種目延べ3,747人が参加	実施中	継続





主な事業の実施状況

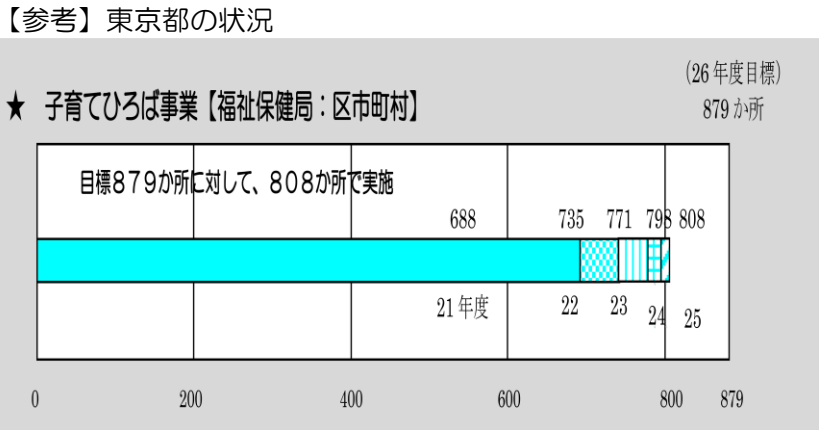
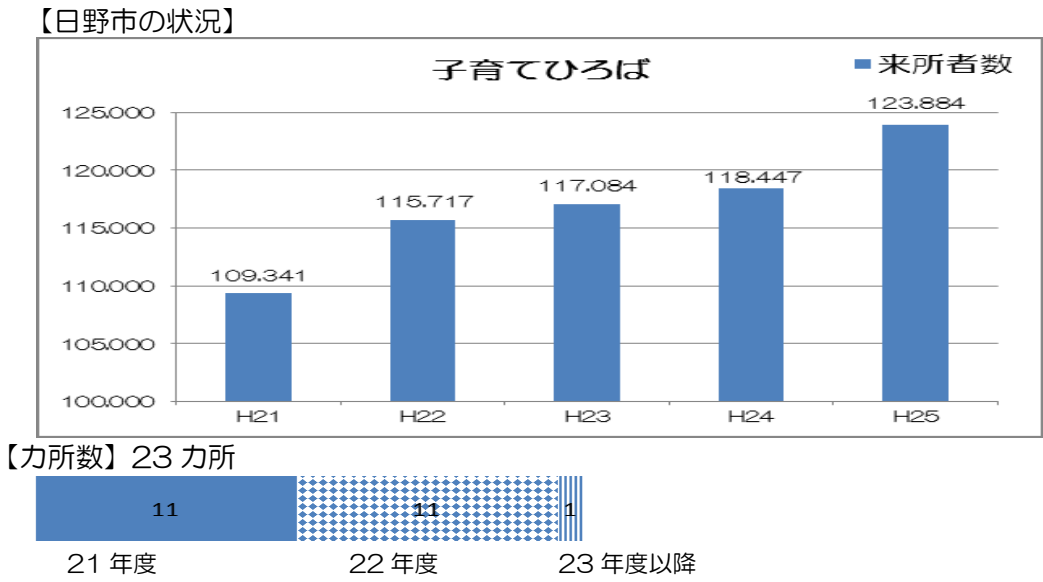


主な事業の実施状況

★ 子育てひろば事業	26 年度目標数値	9カ所
	25 年度実績数値	23カ所

乳幼児親子が気軽に集い、語り合い交流する場を提供し、地域で子育てを支えあう関係づくりと相談体制を充実させることで保護者の負担軽減を図ります。また、虐待予防、養育相談の最前線として、取り組みを強化します。

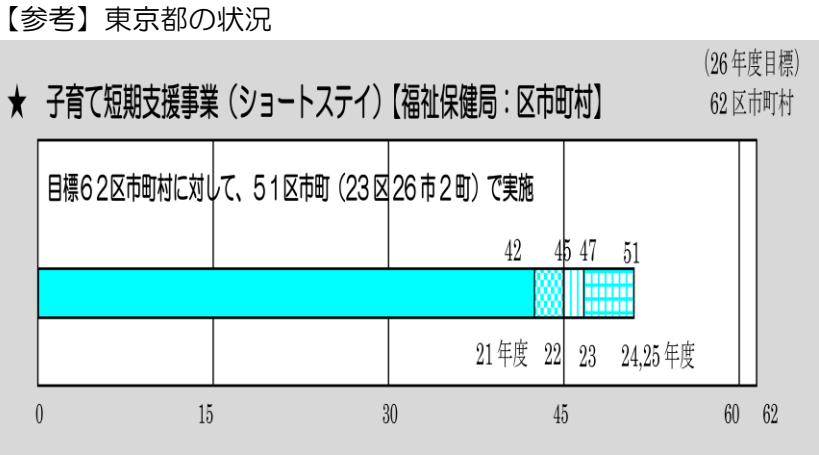
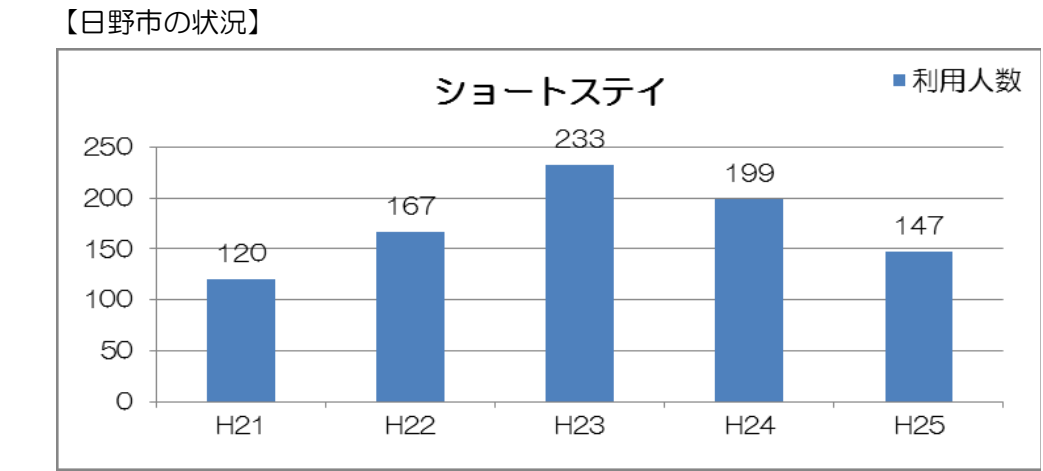
- ①子育て家庭の親とその子ども（概ね3歳未満の児童及び保護者）の交流の場の提供
- ②子育て等に関する相談及び援助の実施
- ③地域の子育て関連情報の提供
- ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施
- ①～④をはじめとする総合的な子育て支援の拠点



★ 子育て短期支援事業（ショートステイ）	26 年度目標数値	1カ所
	25 年度実績数値	1カ所

虐待予防、養育相談の最前線として、取り組みを強化します。児童を養育している家庭の保護者が疾病その他の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合等に、宿泊を伴い一時的に児童を養育・保護する事業です。

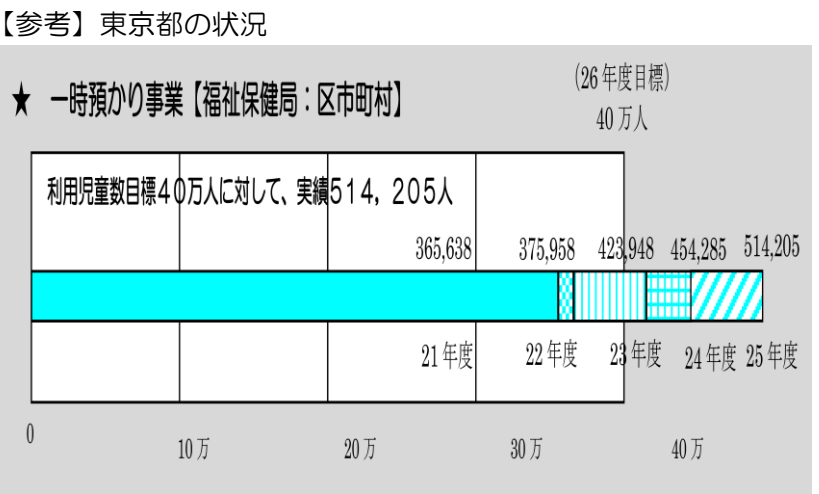
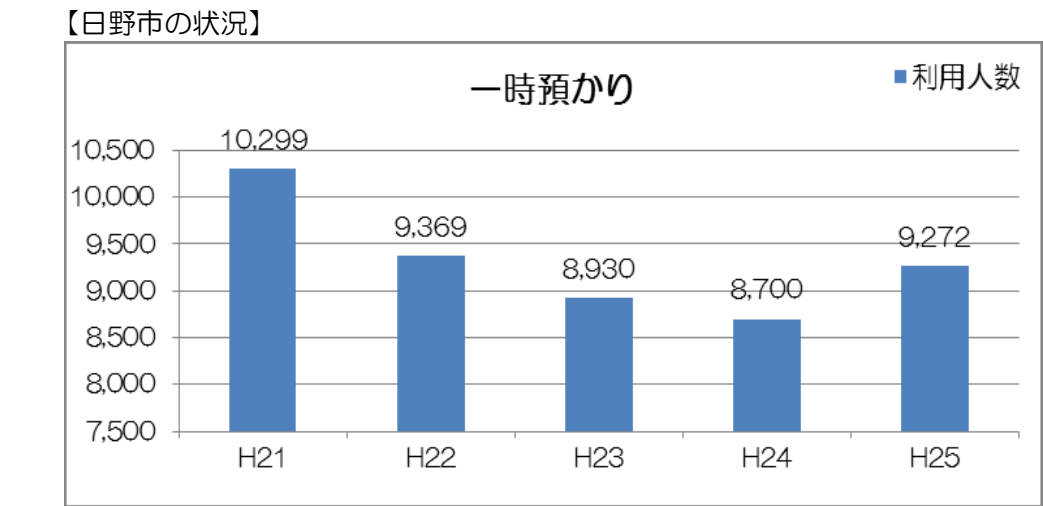
- ・対象児：2歳から小学6年生まで（弟妹と同時の場合は中学生まで）
- ・利用日数制限：1利用につき7日間まで



★ 一時預かり事業	26 年度目標数値	8カ所
	25 年度実績数値	7カ所

児童を養育している家庭の保護者が育児疲れ解消、急病及び仕事等で一時的に保育が必要となった場合に子ども家庭支援センター多摩平及び市内の民間保育園、日野市立福祉支援センター0歳児一時保育室において児童を保育する事業です。

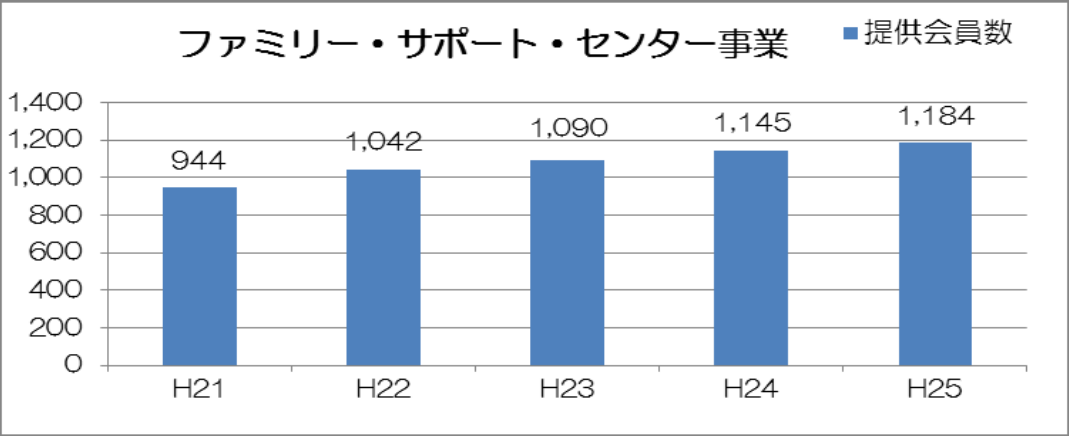
- 対象児童：生後3か月～就学前まで
- 利用時間：0歳児 月・火・木・金 9:00～16:30
- 1歳～就学前まで 月～土（民間保育園は月～金）8:30～17:00（超過保育あり）
- ※祝日・年末年始の実施無



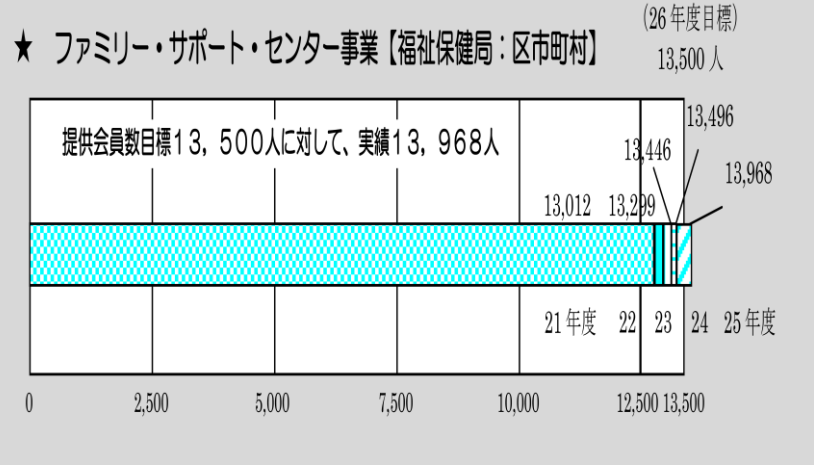
★ファミリー・サポート・センター事業	26 年度目標数値	提供会員	800 人
	25 年度実績数値	提供会員	1,184 人

手助けが必要な方（依頼会員）と、手助けができる方（提供会員）が登録（無料）をし、ファミリー・サポート・センターを仲介とした、子育て等を地域で助け合う有償ボランティア活動です。依頼会員でもあり提供会員でもある方（両方会員）もいます。会員を組織として、相互援助活動の調整等を行い、また、多様化するニーズに対応するため、講習会の実施等により会員の資質向上を図っています。

【日野市の状況】



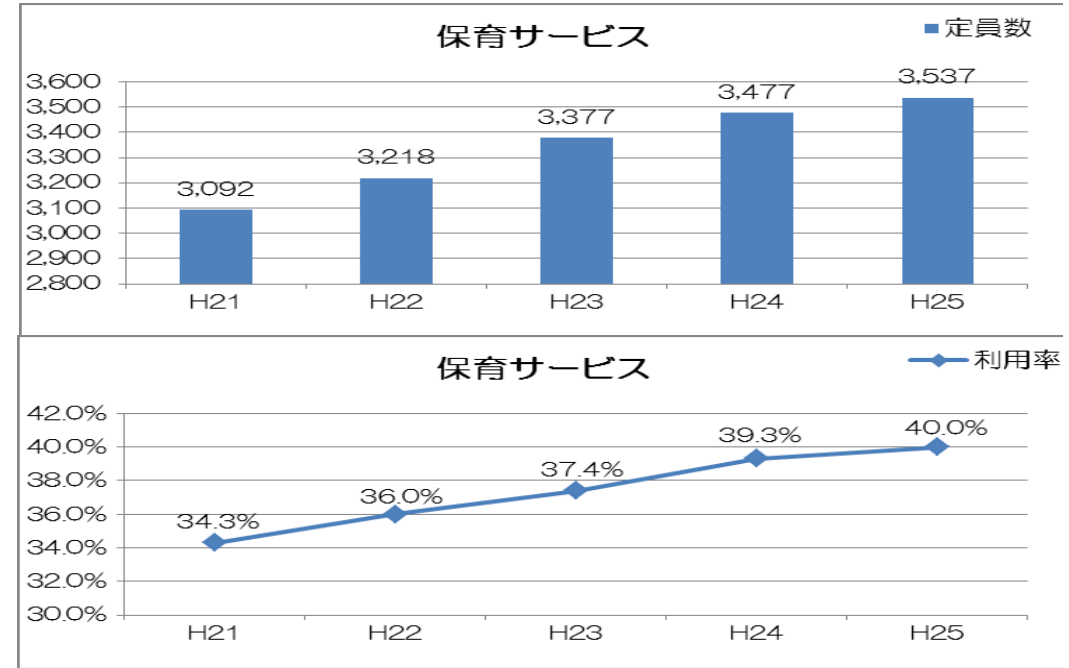
【参考】東京都の状況



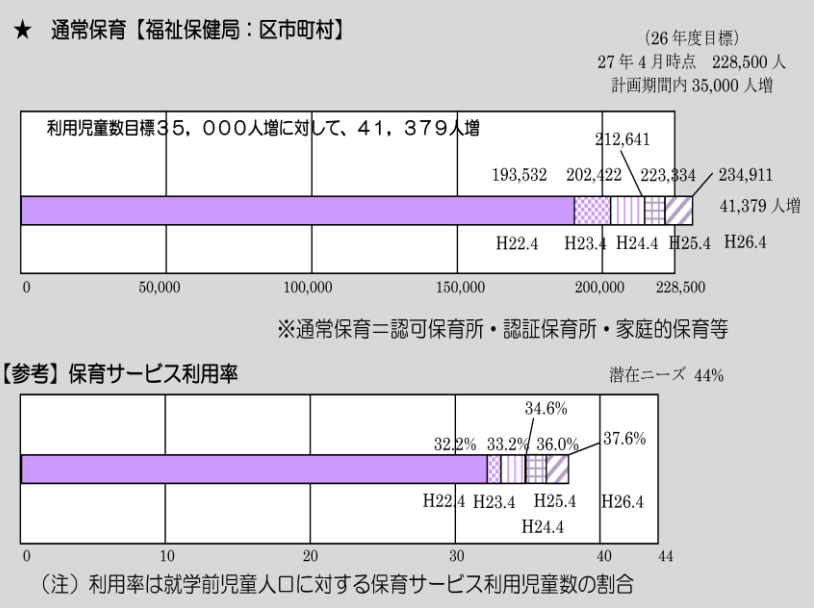
★ 通常保育	26 年度目標数値	定員 3,368 人（276 人増）
	25 年度実績数値	定員 3,537 人（445 人増）

保育事業（公立 11 園、私立 25 園、認証保育所 7 園）・認定こども園・小規模保育・家庭的保育・事業所内保育などで、保護者の労働又は疾病その他の理由で、家庭において必要な保育を受けることが困難な未就学児の保育を実施。

【日野市の状況】



【参考】東京都の状況



★ トワイライトステイ	26 年度目標数値	1 カ所
	25 年度実績数値	1 カ所

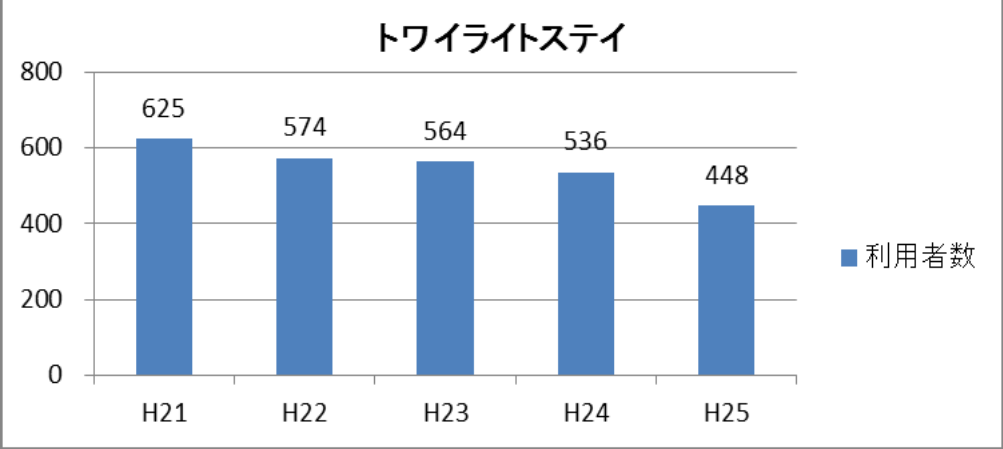
トワイライトステイ（夜間養護等事業）とは、家族の入院や勤務での残業等様々な事情で帰宅が夜間になる場合等に、一時的に子どもを預かる事業です。

対象児童：1 歳～小学校 3 年生まで

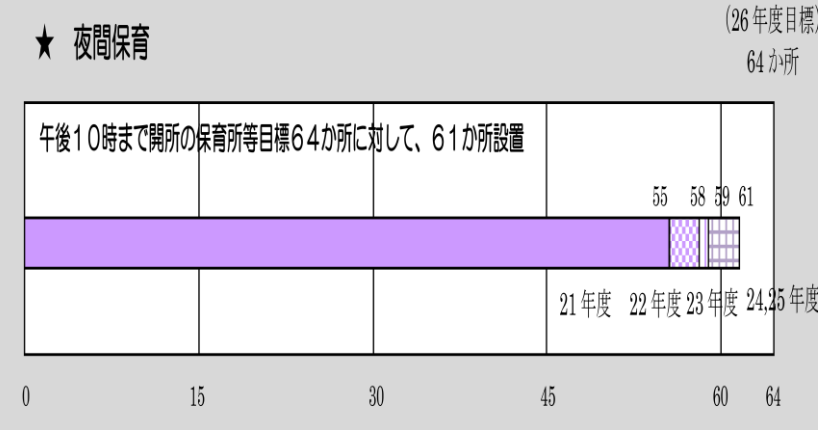
（お子さんの発育、発達状態等により、利用の時期を相談すること有り）

利用時間：月～土 18:00～22:00 ※祝日・年末年始の実施無

【日野市の状況】



【参考】東京都の状況



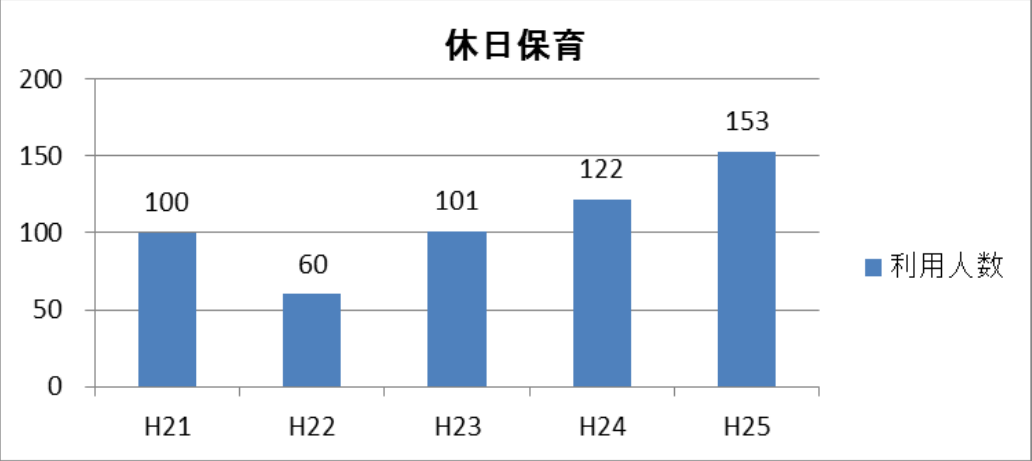
★ 休日保育	26 年度目標数値	1 力所
	25 年度実績数値	1 力所

日曜日、祝日等の保護者の勤務等により保育に欠けている児童に対する需要に対応するため、休日保育事業を実施することにより、育児支援を図り、もって児童福祉の増進を図ることを目的とする事業。

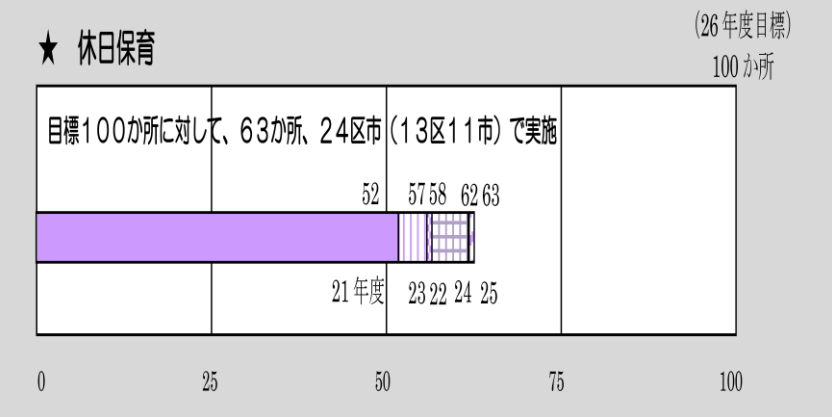
対象児童：市内に住所を有する満 1 歳から就学前までの児童

利用時間：午前 8 時 30 分から午後 5 時まで

【日野市の状況】



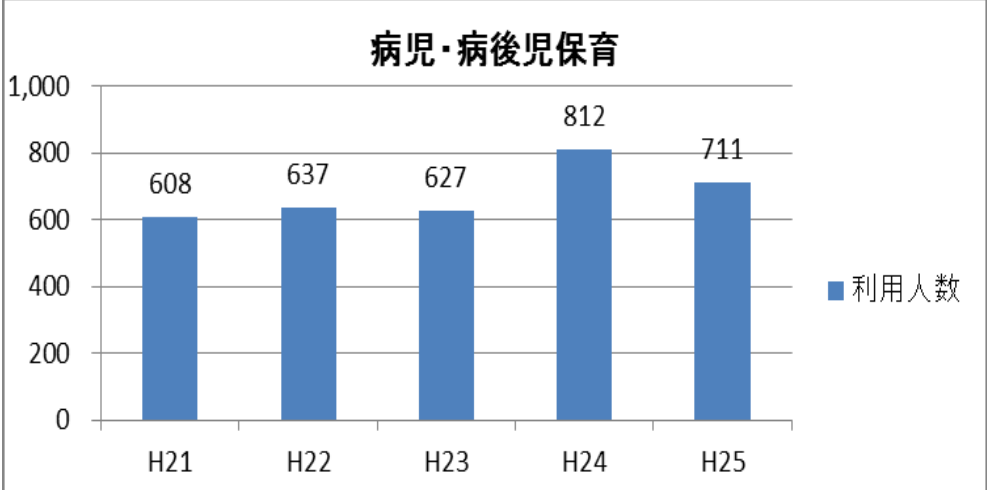
【参考】東京都の状況



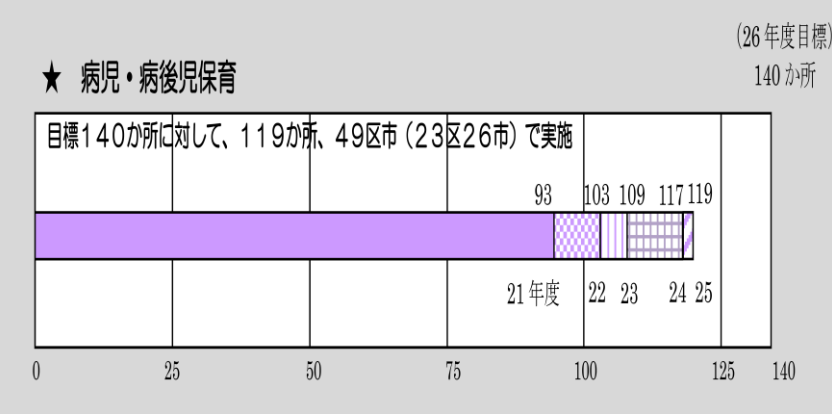
★ 病児・病後児保育	26 年度目標数値	2 力所
	25 年度実績数値	2 力所

保育又は監護に欠ける児童が病中又は病気の「回復期」であり、集団保育及び集団育成の困難な期間、一時的にその児童の一時預かりを行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与することを目的とする事業です。

【日野市の状況】



【参考】東京都の状況



★ 学童クラブ	26 年度目標数値	34 施設（240 人増）
	25 年度実績数値	36 施設（270 人増）

就労等の事由により、放課後等の時間、家庭に保護者(養育者)がいない児童を預かり、育成する事業。

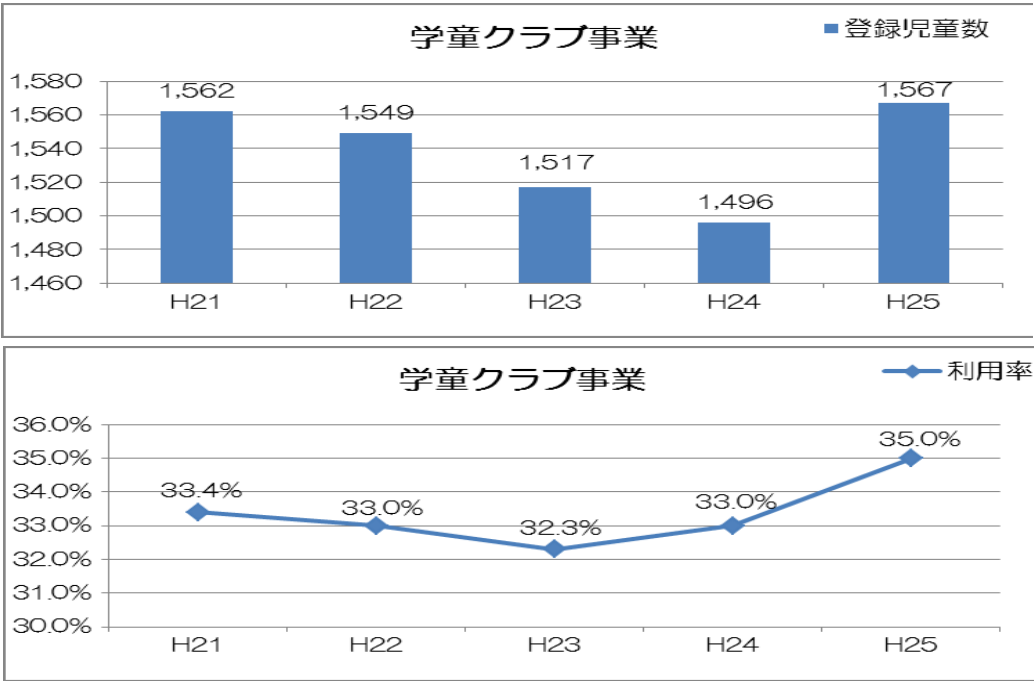
対象：小学校 1～3 年生（ただし、障害児は 4 年生まで）。

①施設数（平成 27 年 3 月時点）：36 力所（1 施設内に 2 か所の学童クラブを設置している場合を含む）。

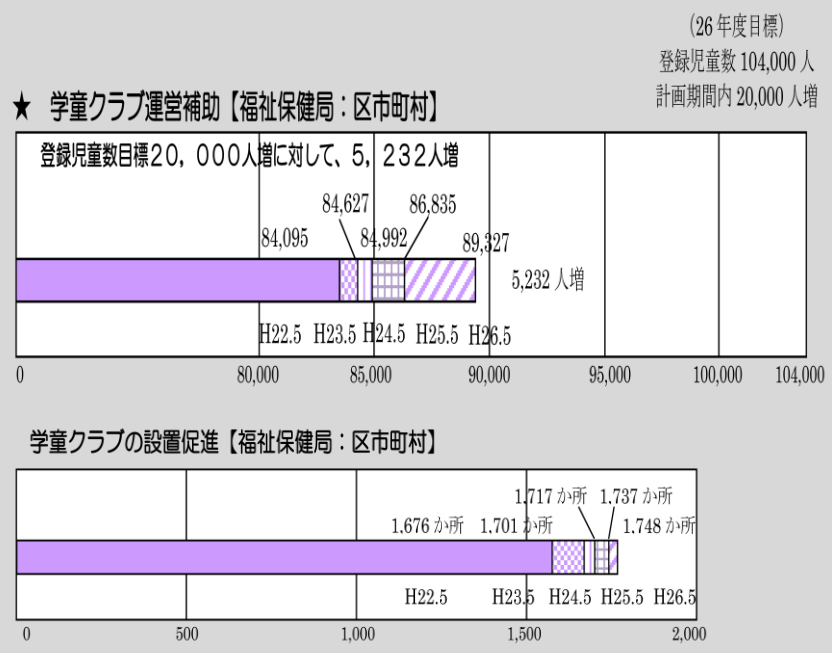
②育成日：月曜日から土曜日まで（祝祭日・年末年始を除く）通年利用コースと三季休業利用コースの選択制（平成 27 年度より）

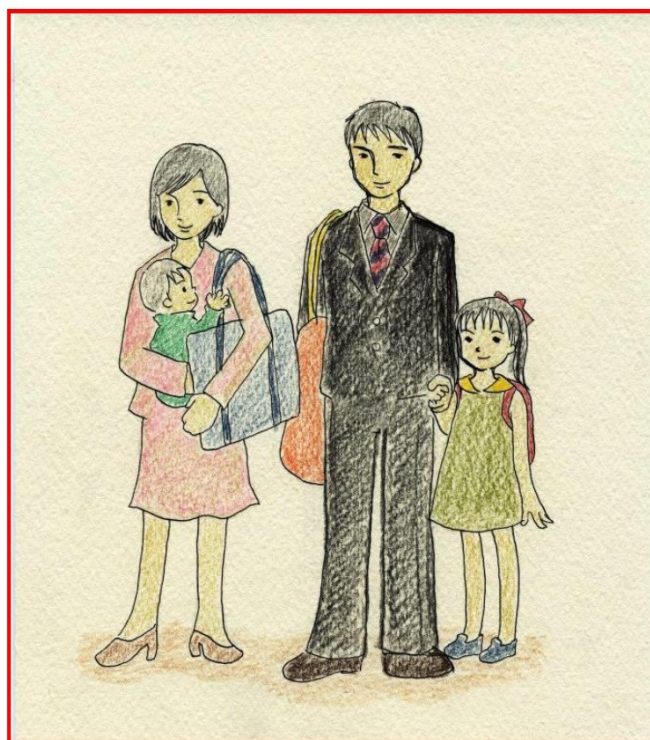
③育成時間（平成 26 年度現在）：・通常 下校時～午後 6 時 30 分 ※午後 5 時 45 分以降の利用は事前申込みと別途費用が必要
・学校休業日 8 時 30 分～17 時 45 分 ※土曜日、三季休業期間等。

【日野市の状況】



【参考】東京都の状況





ひのっ子すくすくプラン

-日野市次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況報告-